

燃料コスト 低減策研修

静岡・JAしみず
洋花部会

【静岡・しみず】JAしみず洋花部会は3月上旬、静岡市清水区と同JA興津支店で、燃油を主とした生産資材高騰対策をテーマに、研修会を開いた。部会員ら16人が参加し

た。

管内の洋花栽培は、ハウス温室で栽培しているため、重油や電気代など暖房費用の高騰は農業所得を直撃しており、コスト低減策が喫緊の課題。研修会では同JAの望月裕人さんが講師となり、対策を説明した。

望月さんは「暖房機のメンテナンスをきちんと行い、効率を高め

ること。熱を逃がさないこと。熱源を変えてみるかなどを検討し、費用削減に取り組んでほしい」と呼びかけた。具体策として、熱を逃がさないためにカーテンの多層化や従来のA重油ではなく電気（ヒートポンプ）や木材の燃焼（ペレットボイラー）に熱源を変更することなどを提案した。

参加者は「対策はまず、基本の積み重ねが大切ということを再確認した」と話した。